



編集発行

公益社団法人

四街道市シルバー人材センター

普及啓発委員会 広報編集グループ

四街道市和良比181-37

電話 043-497-5080

<http://www.sjc.ne.jp/yotsukaidou/>

自主・自立・共働・共助の理念と安全就業



謹賀新年



和紙絵「翔」・書「和」/千葉つる子会員 作



新たな事業に向けて

新年、明けまして
おめでとう
ございます。

会員の皆様には、健やかな新春を迎えられた

こととお慶び申し上げます。

令和元年は、日本列島規模で甚大な災害が発生した年でもありましたが、全国的規模で見ると限りでは、四街道市は被害が少なかった様に思われます。しかし、油断大敵です。「天災は、忘れたころにやってくる」と言う格言がある事も、忘れては成りません。多少に関わらず被害を被った方々には、お見舞いを申し上げます。

昨年は会員増強の年でもありました。お陰をもちまして、目標とする603名を早くも9月時点で目標達成しました。ひとえに会員皆様の御協力のたまものと感謝しております。

今後は更に、就業の場の充実を図るべく新規事業検討委員会を開催し、鋭意努力を重ねているところです。これに加え、シルバー人材センタ

ーのイメージアップを同時に図らねば成りません。それは、見える安全対策に加え、苦情ゼロを目指します。更には、その手段としてお客様にシルバー人材センターをそとから見た印象として、どの様に印象付けられているか又、どの様に受け止められているのか、昨年10月よりお客様にアンケートの協力を依頼しているところです。その集計分析によっては、会員の皆様には、更なるご理解とご協力のお願いをする事になります。これらにより、更なる就業のチャンスが充実し増加につながる事となります。

介護予防サービス、家事援助サービスも昨年から、微少なながらも右肩上がりに上昇しております。今後は、シルバー人材センターの主要柱として成長することでしょう。今後の伸びに期待しているところです。

寒さも一段と厳しくなる時節になります。

会員の皆様、健康に十分気をつけられ就業にあたられることを願ひまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人四街道市シルバー人材センター
会長 三浦 誠



新年のご挨拶

四街道市長 佐渡 斉

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から市政への多大なるご支援とご協力に厚く御礼申し上げます。

本格的な高齢社会を迎える中、社会の活力を維持していくためには、高齢者の皆さまが、その豊かな経験、知識、技能を活かし、活躍できる社会をつくっていくことが不可欠です。

健康で生きがいのある生活の実現や地域社会の活性化に、大きく貢献されているシルバー人材センターの果たす役割は、一層高まっております。

今後も、高齢社会を支える地域の中核組織として、会員数の拡大に取り組まれますとともに、地域の特性やニーズにあった事業を積極的に展開していただくなど、更なる活動の充実にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人四街道市シルバー人材センターのますますのご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



佐渡市長

産業まつり “会員力”で再スタート



農園同好会の農作物販売



無料体験コーナー

S 工場の小物販売

今や毎年恒例となった、「産業まつり」参加による普及啓発活動が11月9・10日の二日間、四街道中央公園で今年も実施されました。

平成21年度に初めてブースを設けてから昨年まで、理事会と事務局の企画・運営により、会員親睦会（農園同好会、手芸同好会、有志の会員）のほか、近年では「コラボ四街道」の「休耕地等村おこし同好会」の協力を得て実施してまいりましたが、“休耕地等村おこし同好会”の解散に伴い、今年度からは参加当初にもどり、シルバー人材センター単独での参加となりました。仕切り直しとなった今回から、今までの協力団体と普及啓発委員会、

会員増強促進委員会の代表等による“産業まつりプロジェクトチーム”を結成し、「会員が中心のイベント」への転換を目指し、取り組みました。そのような中、準備期間は少なかったのですが、農園同好会とS工房、有志の会員のみなさんのご協力で、大変盛り上がりました。特に、体験型のコーナー（どんぐりのアクセサリー作り、ティッシュケース作り）は、材料がなくなるほど。

近い将来、プロジェクトチームを中心に“会員力”を活用した、参加する会員も来場者も「心待ち」にする、楽しいイベントになるであろうと、希望の膨らむ結果となりました。



亀崎の 緑と自然の中で子育て

～ 子供や孫に祝福され
2年前に金婚式を迎えた ～

英一さんはグリーンリサイクル事業、千代田近隣公園の清掃業務に従事。奥様の祥子さんは総合公園の清掃業務で活躍中。林田さんは、1, 200坪の畑で野菜作りに精を出し、丹精込めて収穫した野菜は、「農園クラブ」の“朝市”の商品としても提供していただいている。



林田さんご夫妻

亀崎地区100軒のうち、約1/2が林田姓。佐倉市出身の祥子さんには、識別が大変だったのでは？との疑問に、「屋号で呼んでいます。ちなみにうちは、“しちれんどん”で、皆さん“〇〇どん”の屋号をお持ちです。新婚時は共稼ぎで、今は亡き両親にお世話になりながら、自然に覚えました。」とのこと。ご両親への、心からの感謝の気持ちが伝わってきた。“しちれんどん”は、先祖の名前の“七郎衛門”に由来する。“どん”は殿を意味するそう。

英一さんは千代田南小学校、千代田中学校に通った。千代田中学校は、現在の愛国学園(四街道)の脇にあった兵舎を校舎として使用し、自転車で30分以上かけて通学した。四街道町誕生前後の頃だ。「子供の頃、大日桜が丘一帯で鉄砲玉の鉛を拾って、1ヶ1円で売って小遣いにした。担ぎ屋をしていた母を手伝って、重い荷物を30分歩いて物井駅まで運び、母は野菜を東京で全て売って帰って来た。」懐かしい思い出だ。

林田家は皆、頑張り屋。近年では、熊野神社の火災で御神体が焼失し、林田さんが神社総代の仲間と一緒に、和歌山県熊野の総本社に出向き、御神体を分けて貰ってきたという秘話も披露してくれた。

仲睦まじいご夫婦で、円満の秘訣はと聞くと、「シルバーセンターで就業したことなど、会話に努めています。」との祥子さんの話に、英一さんも笑顔で頷ぎいていた。「センターの会員になって、仲間が増え、カラオケを楽しむなど、エンジョイしています。」と楽しそうだ。

「亀崎地区の自慢は、緑が豊かで空気が良いところ。それと地域の連帯かな。東日本大震災の時など、土囊とブルーシートをもって、自然と人が集まり、破損した家々の屋根を修理して回った。」と英一さん、誇らしげだ。

お邪魔した時から気になっていた、玄関先のヘルメットについて聴くと、「災害時の避難用。かつて、ハーレーダビットソンに乗っていた頃使用したもの。」との話に大変驚いた。林田さんの違った一面を、垣間見ることができた。林田さんは、息子さん、娘さんともに近くに居を構えており、4人のお孫さんとの触れ合いを楽しみにしている。

お二人そろって、いつまでも元気にシルバー人材センターで活躍されることを祈念しながら、林田家を後にした。



(インタビューー 平林・鈴木編集委員)

会員増強促進委員会に参加して・・・

春田 光義 会員（セミナー班）

One Team

で、**会員増強頑張りましょう！**



春田会員

平成 27 年後半から、セミナー班で入会説明会を担当しています。

当時は、毎月 10 名以上の方が参加されていましたが、再雇用促進・定年延長もあって、徐々に参加者も減ってきました。会員が、少なくなりすぎるとセンターの維持

ができなくなります。そのような危機感から、会員増強促進委員会が立ち上がりました。

三浦委員長以下 5 名の委員と事務局 2 名でスタート。テーマを挙げ、議論し、具体的なアイテムに仕上げるという繰り返し。それぞれの意見をまとめる事務局にリードされながらも、回を追うごとに、具体的な活動テーマが出来上がった気がします。



安全確保と普及啓発のために 【草刈班】

そこから・・・

- ① 保存版小冊子の発行
- ② 新規会員紹介制度
- ③ 作業時のベスト・エプロン

が生まれました。

特に紹介制度は、会員の皆さんの協力で会員増強に貢献しています。第 2 期は伊藤理事が委員長に就任、女性会員活動推進委員会と協力して活動して行くことになりました。就業機会を増やす、会員の交流、シルバー人材センターの魅力アップ、仕事を通して地域貢献 P R 他。

会員のみなさん、ONE・TEAM で会員増強頑張りましょう。



セミナー班による入会説明会

編集後記

昨年は災害の多発、天皇即位、ラグビーワールドカップ、消費増税等色々な事がありました。

皆様には、どんな 1 年だったでしょうか？

今年はオリンピックイヤー、日本勢の活躍が楽しみです。子年は十二支の最初。輝かしい 12 年の始まりでもあります。会員の皆様は若々しい。後期高齢者なんて云わせない。光輝高齢者です。大いに楽しみましょう。皆様！ 新年が幸多い年でありますよう、お祈り申し上げます。



広げよう！ 「働く喜びと社会参加」

会 員 数

男 性	456 名
女 性	159 名
合 計	615 名



©Mitsuno Togetsu, 2014

令和元年 11 月末日現在

最高登録会員数 平成 24 年 1 月 末 672 名